

淀川水系湖北圏域河川整備計画の検討状況と今後の予定について

1 検討状況と今後の予定

湖北圏域河川整備計画は、姉川・高時川・田川を含め合計 7 つの一級河川の計画的な整備内容や、他の一級河川の維持管理の方針などについて定めることとしている。

丹生ダム検証については、平成 26 年 1 月 16 日の「第 1 回検討の場」において「ダム建設を含む案は有利ではない」旨、近畿地方整備局から示された。丹生ダム建設事業の対応方針が正式決定されたものではないが、このような状況を踏まえて、今後の対応を進める必要がある。

今後、国における丹生ダムの対応方針の正式な決定タイミングを見極めながら、湖北圏域河川整備計画の策定作業を進める。

姉川・高時川は、戦後最大相当（昭和 50 年 8 月台風 6 号）の洪水を安全に流下できるよう、平成 26 年度から具体的な河道計画の検討に着手する。

田川は、すでに河道の拡幅ならびにボックスカルバートの改築の検討に着手している。今後、現地測量を行い、具体の治水計画を策定し、速やかに関係機関・地元関係者等と調整を行う。

他の 4 河川（余呉川、大川、天野川、長浜新川）については、引き続き調査検討のうえ調整を行う。

2 河川整備計画策定手続きの流れ

調査検討作業

↓

関係市、関係機関との調整
地元関係者との調整（河川法第 16 条の二 4）

↓

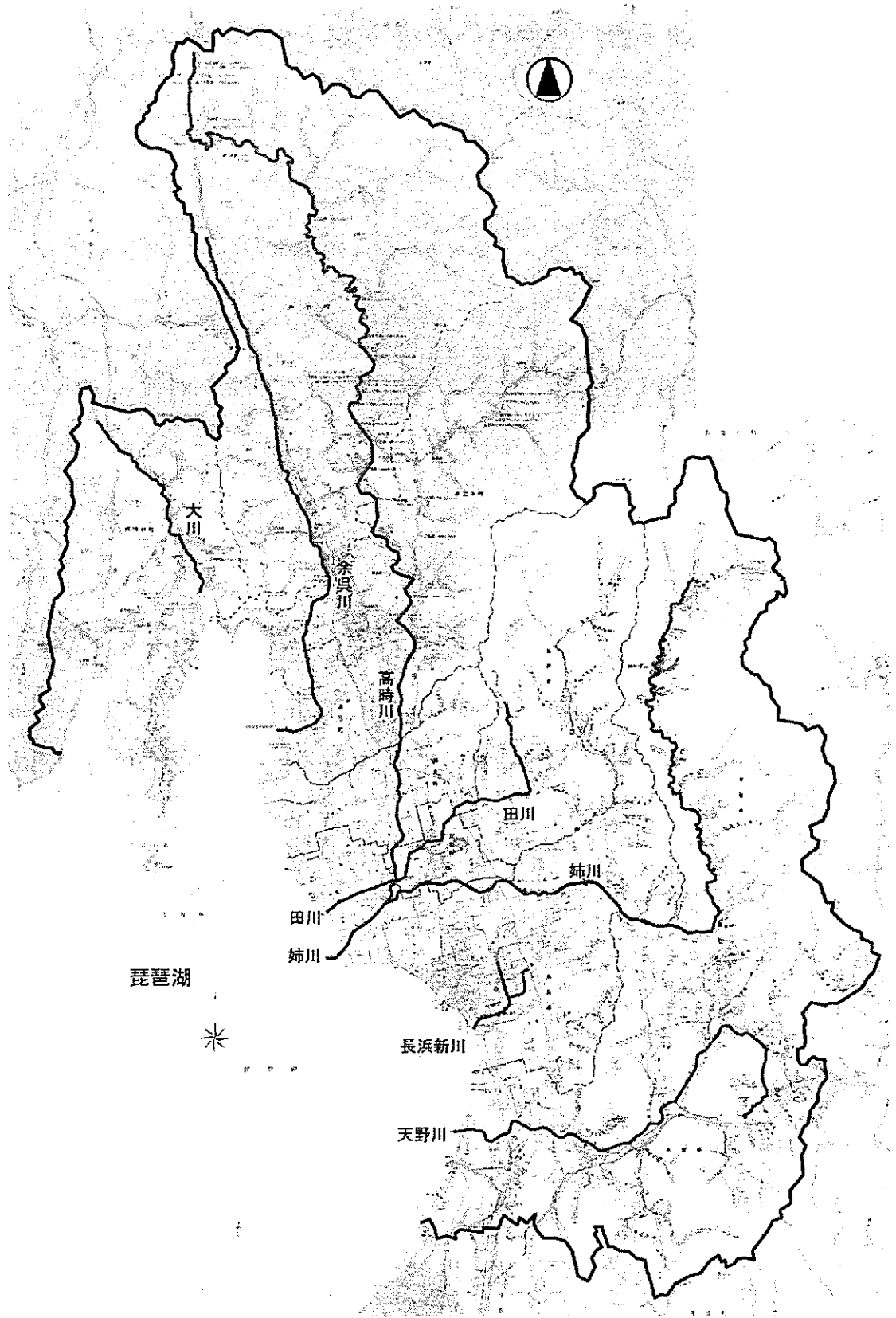
学識者への意見聴取（河川法第 16 条の二 3）

↓

関係市長への意見聴取（河川法第 16 条の二 5）

↓

近畿地方整備局へ認可申請



湖北圈域図